

ゆう和

Air-Conditioning
& Plumbing Contractors
Association of Hyogo

No.018

2012 WINTER

ゆう和 2012 WINTER No.018

特集 教訓を生かし減災・防災について考える

特集1 兵庫県地域防災計画 兵庫県企画県民部防災企画局防災計画課
東日本大震災を踏まえた兵庫県の地震・津波対策

特集2 減災・防災探検隊 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター
震災を伝え、学び、減災や防災に貢献する

NPO法人 日本核シェルター協会

自分の身は自分で守る、これが世界の常識です

県内施設探訪 大阪ガス 姫路ガスエネルギー館

地球と科学とエネルギーのことを、見て・ふれて・楽しく学べる

■ 新年のご挨拶・神田 武会長・井戸敏三兵庫県知事・協会顧問

■ 平成24年 新年交礼会

兵庫県青年洋上大学海外養成塾参加レポート 県庁だより



社団法人 兵庫県空調衛生工業協会

tel.078-341-0991 fax.078-341-0874

<http://www.hyogo-kuei.or.jp>

私たちは、兵庫県と防災協定を結んでいます。
ライフラインを守り、災害時の復旧に尽くします。

発行/社団法人 兵庫県空調衛生工業協会

ご挨拶



(社)兵庫県空調衛生工業協会
会長 神田 武

希望・希望・希望の一年を……

平成24年新春は、おだやかな気候に恵まれ、皆様におかれましても健やかな新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

今年は「希望・希望・希望」の幸せな一年でありますことを願います。

昨年は景気問題、国の財政問題、雇用問題と難問山積みの中、3月11日の東日本大震災、又台風の影響と大変な一年でした。今我々に求められているものは、お互い支えあい、声かけあつて、日本再生につなげていかなければなりません。

こういったときにこそ、設備業が社会的な産業として、建設産業の二分野を担う独立した産業として確立されなければ、先に策定した協会ビジョンからも遠ざかります。

ここ10年建設業界を取り巻く経済状況は厳しいものがありますが、その中で、命の根元であるかけがえのない水と空気を活かしている設備産業のあるべき姿、そして

その具体化に向けた仕組みづくりということをもう一度考えるときかも知れません。

協会として業界の政策や仕組みづくりを考え、顧客、地域社会から広い社会の絆を育む「豊かな心」の会員企業づくりこそ求められていることと感じております。

例えば入札制度改革があつて数年余りが経過していますが、依然として、ただ最低価格だけを追い続け、利益が出なければ発注者側に最低価格の引き上げを求める繰り返しでは、従属的な業種を抜け出せません。

行政と協調して社会資本建設の政策と仕組みづくりを作り上げることができれば公共工事をリードしていけるのではないのでしょうか。

当協会は今年の4月1日より公益法人改革による、一般社団法人として認可を受けスタートすることになります。これを機に、我々業界は地球温暖化、次世代エネルギー等の問題のイノベーションを果たしていくためにも、空調衛生業界の役割は大きなものとなります。皆さんの知恵を生かし、協会に結束して希望ある業界づくりをしていこうではありませんか。

後世にむけての業界発展と、社会から認識される業界となるよう、社会的使命を果たす活動が必要となります。今年も協会の安定的な運営のためにも、昨年に続いて会員一人が新入会員一人を入会へ「MAN TO MAN」で会員増強に取り組んでいくことをお願いいたします。

今年一年が皆様にとつて明るい希望のある一年でありますことを祈念いたしまして新年のご挨拶いたします。



表紙
阪神・淡路大震災記念
人と防災未来センター

CONTENTS

YUWA 2012 WINTER NO.018

会長挨拶……………2

(社)兵庫県空調衛生工業協会 会長 神田 武

新年のご挨拶……………4

兵庫県知事 井戸敏三

兵庫県まちづくり部長 川端宏幸

参議院議員 末松信介

兵庫県議会議員 立石幸雄

特集1 兵庫県地域防災計画

兵庫県企画県民部防災企画局 防災計画課

東日本大震災を踏まえた……………6

兵庫県の地震・津波対策等

特集2 減災・防災探検隊

阪神・淡路大震災記念

人と防災未来センター

震災を伝え、学び、……………8

減災や防災に貢献する

NPO法人日本核シェルター協会

自分の身は自分で守る、……………9

これが世界の常識です

平成二十四年 新年交礼会……………10

県内施設探訪

大阪ガス 姫路ガスエネルギー館……………12

地球と科学とエネルギーのことを、

見て・ふれて・楽しく学べる

兵庫県青年洋上大学

海外養成塾参加レポート……………13

県庁だより……………16

新会員紹介・お知らせ……………18

親睦チャリティーゴルフ大会の

募金を寄贈……………19

二〇一二年 新年のご挨拶



兵庫県知事

井戸敏三

「創造と共生の舞台づくり」

平成二十四年新春のご挨拶を申し上げます。九ヶ月前の東日本大震災は、全国に大きな影響を及ぼしました。被災地は、ようやく復旧復興のスタートを切りました。七年前、阪神・淡路大震災を経験した私たちだけに、これまで同様、これからもできる支援を続けていきたいと思います。二十年になるデフレ経済、円高の長期化など経済社会にも不透明感が広がっています。また、兵庫も人口減少社会に突入しました。しかも、高齢化、少子化、地域格差の拡大を伴っています。今だからこそ、将来不安のない社会的枠組みを再構築し、あわせて地域個性が発揮される元気な地域づくりを進めなければなりません。二十一世紀兵庫長期ビジョンが見直されました。めざす将来像は、「創造と共生の舞台・兵庫」です。今こそビジョン、高い目標をもち、これをめざして、ともに兵庫の未来を拓きましょう。

第一は、安全安心の基盤づくり。東海東南海・南海地震や、頻発する風水害への備えに万全を期すとともに、医療、健康、福祉、食など、安心基盤を確保します。

第二は、質の高い生活づくり。若者の自



兵庫県まちづくり部長

川端 宏幸

にとつて充実した素晴らしい年となります。すこしを心より祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

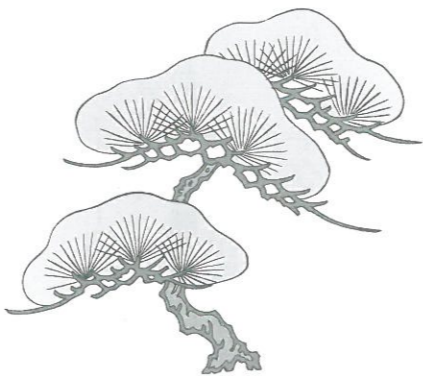
立を応援し、出会い、子育て支援を進めます。地域づくり活動を助け、誰もが暮らしやすい社会をつくりたいです。エネルギー供給の多様化も見据えた再生可能エネルギーの活用など自然と調和した生活を拡大します。

第三は、新時代の経済社会づくり。緊急経済・雇用対策を講じつつ、先端科学技術基盤などの兵庫の強みを生かし、競争力を高め、新たな成長産業を振興します。また、TPP協定の議論を注視し、強い兵庫の「農」を育てます。

第四は、地域の元気づくり。都市と農村との交流、地域再生大作戦のさらなる展開、交流と連携を支える社会基盤の整備を進めます。国出先機関の丸ごと移管など、正念場を迎える分権改革に、関西広域連合「丸」となつて取り組みます。

これからも、自立と連帯、安心と活力、継承と創造を基本に、明日の兵庫を築いていこうではありませんか。

夢を持ち 夢を求める 地域こそ
我が郷土で あるであれかし



参議院議員

末松 信介

新年おめでとうございます。早いもので、参議院議員として八回目の新年を迎えさせて頂きました。

昨年は東日本大震災、台風十二号・十五号等大災害に見舞われた二年でありました。あらためまして、被災されました皆様へ心からお見舞い申し上げます。

おかげさまで一昨年十月以来一年間、参議院行政監視委員会の委員長の仕事を中心に国政に取り組んで参りました。党では、「復興再生基本法等の検討に関する特命委員会」の事務局次長並びに「震災後の経済戦略特命委員会」の副委員長として、「東日本大震災復興基本法」の立案・成立に尽力致しました。

昨年十月には新たに自民党の副幹事長に就任を致しました。また参議院では、予算委員会委員を拝命致しております。国民との「契約違反」が続く民主党政権との国会論戦の最前線に身を置いて、益々「真剣勝負」で事に臨みます。

皆様におかれましては、「コンクリートから人へ」で、本来必要な公共事業が縮小され、民間の設備投資意欲も減退したままという、まさに経営の根幹を揺る

がしかなない厳しい社会情勢が続く中、日々社業維持の為懸命のご努力を重ねておられると拝察致します。

「国民生活の危機脱出へ」、山積する政策課題の解決にむけ、また我が国の景気の好転に寄与すべく、今後も全力で取り組みますこととお誓い申し上げます。結びに、この一年の皆様のご平安と益々のご多幸、ご繁栄を祈念致しまして、年頭の挨拶にかえさせて頂きます。



兵庫県議会議員

立石 幸雄

明けましておめでとうございます。会員の皆様にはお健やかな新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年四月の県議会議員選挙に際しましては、皆様の温かいご支援をいただき感謝に堪えません。誠にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

昨年三月の東日本大震災、九月には台風の豪雨などの災害で多くの人々が被災されました。改めて自然の脅威を思い知らされる一年でありました。そして近い未来に必ず南海・東南海地震が来るともいわれています。それだけに、私たちは災害から逃れることは出来ませんが、これを如何に減らすか、また未然に防ぐことはできないかを常に考え、また、備えておかなければなりません。

兵庫県では国の計画を待つことなく防災計画の見直しを進めておりますが、業界の皆様をはじめ県民の皆様と共に、明日の安心安全のために学び、訓練をしその日のために備えなければなりません。

今年も千支でいえば「辰年」です。景気も経済も龍のごとく上昇し、安心して暮らせる世の中になければなりません。



そのために、私たちも地方から国を変えていくよう懸命の努力をしたいと思います。最後になりましたが、業界のご隆盛と会員皆様のご健勝ご多幸を、心からお祈り申し上げます。

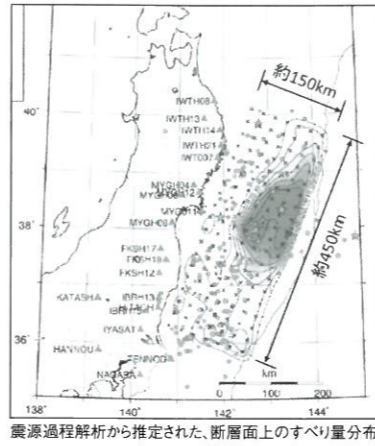
東日本大震災を踏まえた兵庫県の地震・津波対策

1. はじめに

二〇一二年は、二月のニュージーランド南島地震、三月の東日本大震災、七月のタイの洪水被害、九月の台風12号・15号と大災害の多い年でした。

日本海溝付近で発生する地震は、これまでも、たびたび東北地方に津波被害をもたらしていました。東日本大震災では、南北に約450km、東西に約150kmの範囲で断層がすべり、その最大すべり量は約30m、破壊継続時間は約170秒間とされており、これまで想定されていなかったマグニチュード9.0の大規模地震で、最大震度7を記録するとともに、大津波の発生により、東北関東地方の広い範囲の沿岸に多大な被害をもたらしました。

このような津波を伴う海溝型地震で、今後の発生が確実視されているのが、南海地震であり、ひとたびこの地震が発生すれば、



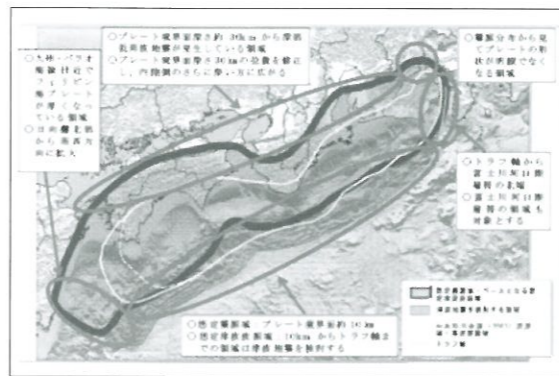
震源過程解析から推定された、断層面上のすべり量分布

兵庫県にも浸水する地域があることはシミュレートしています。これに東海地震、東南海地震と連動するなど東日本大震災クラスの地震津波について、国においても調査研究が進められており、こうした動きを踏まえ、兵庫県においても新たに津波対策を進めています。

2. 国の地震・津波対策

(1) 防災基本計画の修正

平成二十三年九月二十六日に発表された中央防災会議「東北地方太平洋沖地震を教訓とした地震津波対策に関する専門調査会」(座長・河田恵昭関西大学社会安)



新たな想定震源域・想定津波波源域

全研究科長・社会安全学部長・教授)の報告を踏まえ、平成二十三年十二月二十七日、防災基本計画が修正されました。

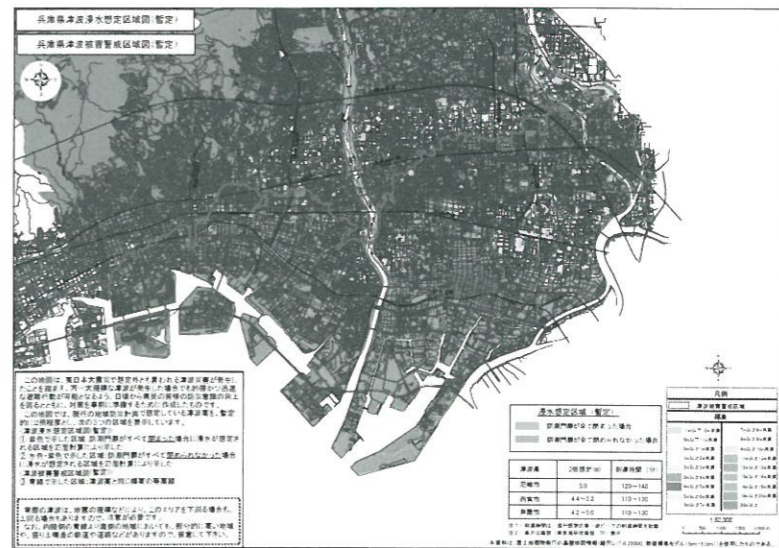
大きな修正ポイントには、「津波対策編」が新設されたことです。津波対策は、従前は「震災対策編」の二の章でしたが、独立した二つの編になり、「予防」「応急対策」「復旧・復興」の各段階における津波災害対策が記述され、2ページ程度の分量であったものが60ページ程度にまで拡充されています。

(2) 中央防災会議「南海トラフの巨大地震モデル検討会」

平成二十三年八月二十八日に設置され(座長・阿部勝征東京大学名誉教授)、同年十二月二十七日に中間とりまとめが公表されました。

この検討会は、古文書調査、津波堆積物等調査のほか、南海トラフにおける地震学的に考えられる巨大地震モデルの構築を行うこととし、最大クラスの想定震源域・想定津波波源域を設定しています。また、地震の規模は暫定値ですが、マグニチュード9.0とされています。

今後、本年の三、四月を目途に最終とりまとめが行われることとなっており、南海トラフの巨大地震による最大クラスの震度分

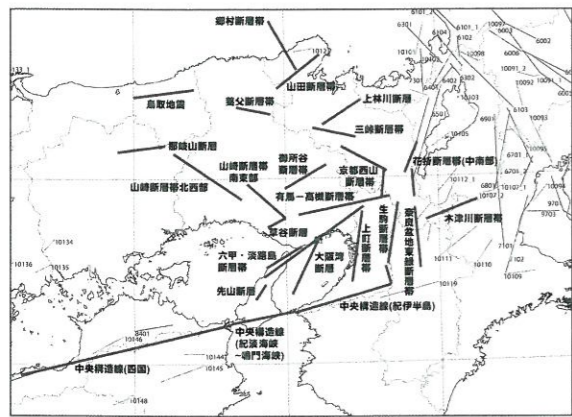


津波被害警戒区域図(暫定)・津波浸水想定区域図(暫定)

布津波高等の推計結果が公表され、これを受け、本年六月頃には被害想定推計値が公表されることとなっています。

3. 兵庫県の地震・津波対策

(1) 津波被害警戒区域図(暫定)・津波浸水想定区域図(暫定)の作成
前述のとおり、国においては新たな南海



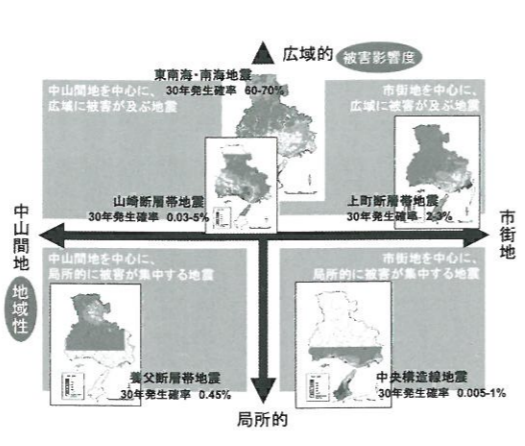
兵庫県に震度5強以上を生じさせる地震

トラフの巨大地震について検討が進められています。この検討結果が公表されるまでの間の津波対策を推進するため、兵庫県では津波被害警戒区域図(暫定)・津波浸水想定区域図(暫定)を作成公表しました。

これまで兵庫県では、一八五四年の安政南海地震(M8.4)クラスの地震を想定し津波被害想定を行っていました。

今回の東日本大震災では、想定していなかった津波被害が発生したことから、最悪の事態に備えるため、防潮施設がないことを前提に、これまでの想定の高さを暫定的に2倍に設定し、その津波高よりも標高が低い地域を「津波被害警戒区域」として津波からの避難を考えておく地域として示し、市町における避難対策を考えるうえでの資料として公表しました。

なお、現実的には防潮施設は存在していませんので、防潮施設が機能している、防潮門扉が開いている場合と閉まっている場合の2



パターンの浸水想定区域も示しました。(2) 地震被害想定

兵庫県では、平成十年度に地震被害想定を実施して以来、活断層調査の進展やシミュレーション技術の向上も踏まえて、平成二十二年度に地震被害想定を見直しました。

新たな想定では、県内の内陸型断層だけでなく、県外断層も含め兵庫県に震度5強以上を生じさせる断層についても想定対象地震とすることにしました。また、今回の被害想定では、断層のすべりが判明しているわけではないことも考慮し、各市町役場直下における伏在断層の最大級の被害想定も行いました。対象地震は海溝型地震を併せて全部で65地震を想定しています。

こうした想定を行うことで、いつ、どこで大地震が発生しても効果的な地震予防対策や迅速かつ適切な災害対応策の実施を目指しました。

一方、各地震の発生確率や地震規模は異な

り、また、被害の状況も都市部と中山間地では異なることから、65地震を類型化し、特に注意を要する地震や発生確率の高い地震(東南海・南海地震、山崎断層帯地震、上町断層帯地震)、地域において注意すべき代表的な地震(中央構造線断層帯地震、養父断層帯地震)の主要5地震を抽出しました。こうした地震ごとに各市町の震度分布を公表しています。

4. 兵庫県地域防災計画の推進

地域防災計画は、当該地方公共団体の防災対策を統括し、計画的かつ総合的に防災対策を推進するため作成するものです。

平成七年の阪神淡路大震災の経験と教訓を基に、兵庫県では地域防災計画を全面改定し、また、その後の災害により得られた教訓も踏まえ地域防災計画を改定し、続けながら防災対策の充実を図ってきました。

自然は時として人智を越え、想像を絶するような災害をもたらします。この度の東日本大震災では多くの尊い生命が奪われました。防災対策を推進していくうえで、二度と繰り返してはならない惨事です。

こうした貴重な経験を踏まえ、国において進められている防災基本計画の修正や南海トラフの巨大地震に関する検討等を反映し、兵庫県の防災対策の充実を推進していきます。

地域名	震度	内陸型地震									
		六甲・淡路島断層帯	有馬・高槻断層帯	六甲山地断層帯	那岐山断層帯	主部南東部	主部北西部	主部南東部・草谷断層帯	大原・土方・安富・主部南東部	上町断層帯	
神戸	震度4以下	M7.7	M7.9	M7.6	M7.3	M7.7	M7.5	M8.0	M7.5		
阪神・神戸	神戸市	震度6強	震度7	震度7	震度4以下	震度6強	震度6強	震度7	震度6強	震度6強	
	尼崎市	震度6強	震度7	震度7	震度4以下	震度6強	震度6強	震度7	震度6強	震度6強	
	西宮市	震度6強	震度7	震度7	震度4以下	震度6強	震度6強	震度7	震度6強	震度6強	
	芦屋市	震度6強	震度7	震度7	震度4以下	震度6強	震度6強	震度7	震度6強	震度6強	
	伊丹市	震度6強	震度7	震度7	震度4以下	震度6強	震度6強	震度7	震度6強	震度6強	
	宝塚市	震度6強	震度7	震度7	震度4以下	震度6強	震度6強	震度7	震度6強	震度6強	
	川西市	震度6強	震度7	震度7	震度4以下	震度6強	震度6強	震度7	震度6強	震度6強	
	三田市	震度6強	震度7	震度7	震度4以下	震度6強	震度6強	震度7	震度6強	震度6強	
	狹山市	震度6強	震度7	震度7	震度4以下	震度6強	震度6強	震度7	震度6強	震度6強	
	明石市	震度6強	震度7	震度7	震度4以下	震度6強	震度6強	震度7	震度6強	震度6強	
東播磨	加古川市	震度6強	震度7	震度7	震度4以下	震度6強	震度6強	震度7	震度6強	震度6強	
	高砂市	震度6強	震度7	震度7	震度4以下	震度6強	震度6強	震度7	震度6強	震度6強	
	稲美町	震度6強	震度7	震度7	震度4以下	震度6強	震度6強	震度7	震度6強	震度6強	
	福崎町	震度6強	震度7	震度7	震度4以下	震度6強	震度6強	震度7	震度6強	震度6強	
	姫路市	震度6強	震度7	震度7	震度4以下	震度6強	震度6強	震度7	震度6強	震度6強	
	中播磨	神河町	震度6強	震度7	震度7	震度4以下	震度6強	震度6強	震度7	震度6強	
	市川町	震度6強	震度7	震度7	震度4以下	震度6強	震度6強	震度7	震度6強	震度6強	
	福崎町	震度6強	震度7	震度7	震度4以下	震度6強	震度6強	震度7	震度6強	震度6強	
	相生市	震度6強	震度7	震度7	震度4以下	震度6強	震度6強	震度7	震度6強	震度6強	
	たつの市	震度6強	震度7	震度7	震度4以下	震度6強	震度6強	震度7	震度6強	震度6強	
西播磨	赤穂市	震度6強	震度7	震度7	震度4以下	震度6強	震度6強	震度7	震度6強	震度6強	
	赤穂市	震度6強	震度7	震度7	震度4以下	震度6強	震度6強	震度7	震度6強	震度6強	
	赤穂市	震度6強	震度7	震度7	震度4以下	震度6強	震度6強	震度7	震度6強	震度6強	
	赤穂市	震度6強	震度7	震度7	震度4以下	震度6強	震度6強	震度7	震度6強	震度6強	
	赤穂市	震度6強	震度7	震度7	震度4以下	震度6強	震度6強	震度7	震度6強	震度6強	
	赤穂市	震度6強	震度7	震度7	震度4以下	震度6強	震度6強	震度7	震度6強	震度6強	
	赤穂市	震度6強	震度7	震度7	震度4以下	震度6強	震度6強	震度7	震度6強	震度6強	
	赤穂市	震度6強	震度7	震度7	震度4以下	震度6強	震度6強	震度7	震度6強	震度6強	
	赤穂市	震度6強	震度7	震度7	震度4以下	震度6強	震度6強	震度7	震度6強	震度6強	
	赤穂市	震度6強	震度7	震度7	震度4以下	震度6強	震度6強	震度7	震度6強	震度6強	
北播磨	小野市	震度6強	震度7	震度7	震度4以下	震度6強	震度6強	震度7	震度6強	震度6強	
	加西市	震度6強	震度7	震度7	震度4以下	震度6強	震度6強	震度7	震度6強	震度6強	
	加西市	震度6強	震度7	震度7	震度4以下	震度6強	震度6強	震度7	震度6強	震度6強	
	加西市	震度6強	震度7	震度7	震度4以下	震度6強	震度6強	震度7	震度6強	震度6強	
	加西市	震度6強	震度7	震度7	震度4以下	震度6強	震度6強	震度7	震度6強	震度6強	
	加西市	震度6強	震度7	震度7	震度4以下	震度6強	震度6強	震度7	震度6強	震度6強	
	加西市	震度6強	震度7	震度7	震度4以下	震度6強	震度6強	震度7	震度6強	震度6強	
	加西市	震度6強	震度7	震度7	震度4以下	震度6強	震度6強	震度7	震度6強	震度6強	
	加西市	震度6強	震度7	震度7	震度4以下	震度6強	震度6強	震度7	震度6強	震度6強	
	加西市	震度6強	震度7	震度7	震度4以下	震度6強	震度6強	震度7	震度6強	震度6強	
但馬・丹波	豊岡市	震度6強	震度7	震度7	震度4以下	震度6強	震度6強	震度7	震度6強	震度6強	
	豊岡市	震度6強	震度7	震度7	震度4以下	震度6強	震度6強	震度7	震度6強	震度6強	
	豊岡市	震度6強	震度7	震度7	震度4以下	震度6強	震度6強	震度7	震度6強	震度6強	
	豊岡市	震度6強	震度7	震度7	震度4以下	震度6強	震度6強	震度7	震度6強	震度6強	
	豊岡市	震度6強	震度7	震度7	震度4以下	震度6強	震度6強	震度7	震度6強	震度6強	
	豊岡市	震度6強	震度7	震度7	震度4以下	震度6強	震度6強	震度7	震度6強	震度6強	
	豊岡市	震度6強	震度7	震度7	震度4以下	震度6強	震度6強	震度7	震度6強	震度6強	
	豊岡市	震度6強	震度7	震度7	震度4以下	震度6強	震度6強	震度7	震度6強	震度6強	
	豊岡市	震度6強	震度7	震度7	震度4以下	震度6強	震度6強	震度7	震度6強	震度6強	
	豊岡市	震度6強	震度7	震度7	震度4以下	震度6強	震度6強	震度7	震度6強	震度6強	
丹波	津和野市	震度6強	震度7	震度7	震度4以下	震度6強	震度6強	震度7	震度6強	震度6強	
	津和野市	震度6強	震度7	震度7	震度4以下	震度6強	震度6強	震度7	震度6強	震度6強	
	津和野市	震度6強	震度7	震度7	震度4以下	震度6強	震度6強	震度7	震度6強	震度6強	
	津和野市	震度6強	震度7	震度7	震度4以下	震度6強	震度6強	震度7	震度6強	震度6強	
	津和野市	震度6強	震度7	震度7	震度4以下	震度6強	震度6強	震度7	震度6強	震度6強	
	津和野市	震度6強	震度7	震度7	震度4以下	震度6強	震度6強	震度7	震度6強	震度6強	
	津和野市	震度6強	震度7	震度7	震度4以下	震度6強	震度6強	震度7	震度6強	震度6強	
	津和野市	震度6強	震度7	震度7	震度4以下	震度6強	震度6強	震度7	震度6強	震度6強	
	津和野市	震度6強	震度7	震度7	震度4以下	震度6強	震度6強	震度7	震度6強	震度6強	
	津和野市	震度6強	震度7	震度7	震度4以下	震度6強	震度6強	震度7	震度6強	震度6強	

阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター 震災を伝え、学び、減災や防災に貢献する

平成23年11月16日(水)

神戸市中央区のHAT神戸にある「阪神淡路大震災記念人と防災未来センター」は、二〇〇二年四月に国の支援を受け、兵庫県が設置。公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構が運営を行っている施設です。震災の記憶を伝え、防災や減災に真摯に取り組みきつかけとなるさまざまな資料を閲覧、体験ができます。阪神・淡路大震災を体験した私たちは、その時を思い出し、それぞれの思いを抱きつつ見学しました。

館内は、防災・減災体験フロア、震災の記憶フロア、震災追体験フロア、防災学習フロアに分かれており、さまざまな資料が展示、上映されています。4階では、かつての神戸の街の夜景の切り絵を見て、不思議な形をした1・17シアターで震災の瞬間の映像を見学。リアリティーに溢れた映像と音響での体験は、私たちの無力さを感じさせるものです。被災現場をイメージしたジオラマの中を歩きながら大震災ホールへ向かうと、被災から復興へ向けたドキュメントが上映され、震災がもたらしたものの大きさに圧倒されます。また、3階には膨大な量の写真が展示されており、一般市民の方から提供された資料も含めて16万点ほどが保存

されているそうです。ここでは、語り部ボランティアの方々が毎日数名常駐されており、被災体験を語ってくださいます。2階は実験を始めとした学びの場となっており、必要な防災用品も展示されています。5階は資料室になっており、防災関連のさまざまな資料が閲覧できます。また、同センターには調査研究機関が置かれ、スーパー広域震災時の大都市間連携情報の高度化や、大都市大震災における復興政策総合評価システムの構築などの研究プロジェクトを立ち上げています。さらに、災害対策にかかるエキスパートの育成も行っています。

阪神淡路大震災から得た貴重な教訓を後世に継承し、国内外の地震災害による被害の軽減に貢献し、生命の尊厳や共生の大切さを発信している「阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター」。同センターは、小中学生から防災に関する研修者までと年齢や属性も幅広い層の方が訪れます。今後、同センターの持つ震災を伝える拠点の一つとしての役割は、さらに大きくなっていくそうです。



【DATA】 ■ 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター
〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2
TEL.078-262-5050 <http://www.dri.ne.jp/>

NPO法人 日本核シェルター協会 自分の身は自分で守る、これが世界の常識です

平成23年11月16日(水)

核シェルターは、その普及率からも分かる通り、日本ではあまり身近な存在ではありません。もちろん、核シェルターが必要とされる事態に陥らなければいいのですが、多くの災害が頻発しているこの時代に、自分の身は自分で守るという原則を考えると、生き残るためにも必要なものと言えるでしょう。防災の先進国スイスでは、すべての新築及び改築建物に防災シェルターの設置が義務づけられており、その普及率は100%に達しています。そんな世界共通のスイス基準を採用した防災シェルターの普及や建設に、四十年以上尽力してきた株式会社 織部精機製作所のモデルルームを訪ねました。

昨年発生したさまざまな自然災害を目の当たりにし、災害への備えの大切さを身にしみて感じる今日、自分や家族の命を守るために、私たちは一人一人がしっかりと知識を持ち、地域ぐるみで対策を講じる必要があります。状況に応じた判断ができるように訓練することや、避難場所を確保することも大切です。核シェルターという究極のセキユリティーシステムは、今後一層、普及および建設されていくかもしれません。

核シェルターは、大規模災害に備える目的で造られます。大規模災害とは、人為的には戦争やテロ、自然災害では地震、津波、火災、化学工場や有害物質を取り扱う場所の事故などを指します。地下の揺れは地表の約三分の一といわれる通り、核シェルターの多くは衝撃波、爆風、放射熱、火などの脅威を減少させるために、土とコンクリートの遮蔽力を利用して、鉄筋とコンクリートを用いて地下に建設されます。また、外部に接しているドアは熱と衝撃、水から内部を守るために、分厚く、密閉度が高くなっています。そんなドアで密閉された室内には、気圧の調整を

行うバルブや、放射能や有害物質を取り除き安全な空気を供給する空気清浄機が設置されており、停電の際には手動で操作できるようになっています。



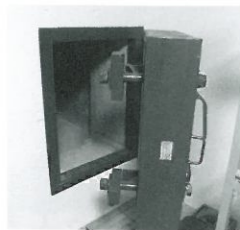
■モデルルーム
神戸市須磨区にあるモデルルーム。外側からは見えませんが、地下に防災シェルターが造られています。



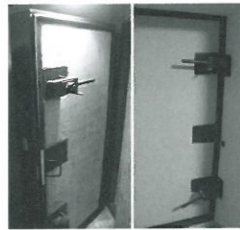
① 気圧弁
室内の気圧調整は、このバルブが引き受けます。



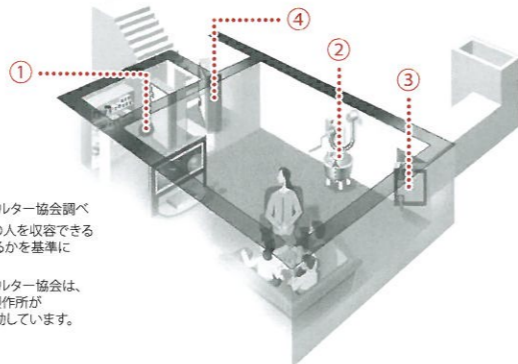
② 空気清浄機
シェルターの心臓部ともいべき空気清浄機。特殊フィルターを備え、放射能はもちろん、サリンを始め世界で知られているすべての有害物質を排除し、安全な空気に換えて室内に取り入れます。花粉のように粒子の粗いものなら、特殊フィルターを通さなくても除去できます。



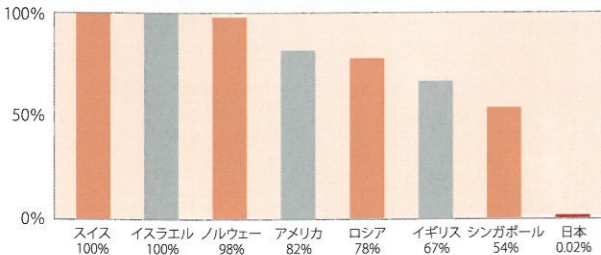
③ 避難口
空気の取り入れも兼ねた脱出通路です。安全が確認できるまで、しっかりと閉鎖しておきます。



④ 耐久ドア
重たく分厚いドア。しっかりと閉めれば、内部の音が外に漏れません。また、外部の騒音に煩わされず、ホームシアターやピアノレッスンなど使い方もいろいろ。多目的スペースとしても使用できます。



■人口あたりの核シェルター普及率



※NPO法人 日本核シェルター協会調べ
※全人口に対し、何%の人が収容できるシェルターが存在するかを基準に作成しています。
※NPO法人 日本核シェルター協会は、株式会社 織部精機製作所が第一号会員として活動しています。

【DATA】 ■ NPO法人 日本核シェルター協会
〒655-0029 神戸市垂水区天ノ下町6-22
TEL.078-707-0020 <http://www.j-shelter.com/>

平成24年 新年交礼会

平成二十四年一月十九日、多数のご来賓と、県下各地よりご参集くださいました会員・賛助会員の皆様のご参加のもと、盛大に新年交礼会を催しました。神田会長の挨拶の後、井戸敏三知事及び顧問の先生方から大変含蓄のあるご祝辞を頂戴し、吉本副知事の乾杯のご発声で交礼会が開幕。午後七時の中締めまで、ご来賓や賛助会員と会員、また会員同士の和やかな交流が繰り広げられました。

また、昨年の親睦チャリティーゴルフ大会における募金を兵庫県青少年本部会長の井戸知事に贈呈。山口敬三理事・総務委員長が昨年七月に国土交通大臣表彰を受けられたこと、昨年十二月に広瀬彰理事が兵庫県自治賞を受賞されたことも披露され、お祝いが贈呈されました。

また、後継の代表取締役が誕生しており、紹介がありました。最終頁にメッセージと共に掲載しております。

■日時 平成24年1月19日(木) ■参加者 248名
 ■場所 ホテルオークラ神戸 1階 平安の間

【主なご来賓(順不動・敬称略)】

- 井戸敏三 兵庫県知事 / 吉本知之 兵庫県副知事
- 末松信介 参議院議員 / 藤田孝夫 兵庫県議会議員
- 永富正彦 兵庫県議会議員 / 野口裕 兵庫県議会議員
- 川端宏幸 兵庫県まちづくり部長
- 松本啓朗 兵庫県国土整備部住宅建築局長
- 小寺泰雄 兵庫県国土整備部住宅建築局設備課長
- 沖正彦 神戸市都市計画総局参事



挨拶
 会長 神田 武

新年は穏やかな天候に恵まれ、皆様方におかれましても健やかな新年を迎えられたことお慶びを申し上げます。

このようにたくさんの方々にご臨席賜り、心からお礼を申し上げます。

昨年は国の財政問題、経費問題、それに伴う雇用問題など難問題が山積みの状態で、三月には東日本大震災が発生。その後、台風被害を受け、大変な二年でありました。しかしながら、今、我々に求められているのはお互いが支えあい、声を掛け合うことです。そして日本の復興に向けて頑張っていくことが重要なことではないかと思えます。それには、「希望、レッツゴー」です。今年、希望を持って一年間をやっていききたいと思



挨拶
 兵庫県知事 井戸 敏三

明けましておめでとうございます。

昨年は、自然災害の多い年でありました。一月の新燃岳噴火、三月の東日本大震災、九月の台風被害、十月と二月はタイの大洪水に見舞われました。一方、良いこともあり、姫路で開催されたB-1グルメリン姫路には52万人の来場があり、神田会長も完走された神戸マラソンは2万3千人が参加し大成功に終わりました。

辰年は、元気な年だといわれています。十二年前の二〇〇〇年はITバブル、その前の九八年はまさしくバブルの年。「バブルよ、来い」と言いたのですが、元気な年になつてほしいと思います。私たちが震災から二年目で再建に携わつたように、東日本大震災もいよいよ復興が始まります。現地の建築業では人手不足で入札不調が二割くらいでいるとの話も聞いています。さらに、瓦礫処理も滞りませんので、併せて動き始めていくと思います。そうすれば、多くの需要が待っています。ぜひ、これからいろいろな形で現地の協会とのご協力とご支援をお願いしたいと思えます。

また、今年の世界の指導者が変わる年です。台湾の総統選挙はそのまま継続されるという事で決着されましたが、アメリカ・韓国・フランスの大統領選挙、中国の首



祝辞
 参議院議員 末松 信介

脳陣の交代が予定されています。一方で、世界第一の国のアメリカと、世界第二の国である中国の経済動向は、通貨供給量で見ると限りは非常に堅実です。一時のように中国が10パーセントを超えるような成長は期待できませんが、通貨供給量を抑えることで物価が安定し安定成長率8パーセントを確保できる見通しです。ヨーロッパの信用不安もありますが、アメリカでは大統領選挙のある四年ごとに、中国では経済計画が改定される五年ごとに、いつもの年より経済成長率が大きくなるという統計的なデータがあります。それに期待したいと思えます。そうすると、アジアや中国の成長と相まって、復興の動きとも相まって、それなりの力強さを回復してくれるのではないかと、兵庫もその余慶にあずかりたい、と思つているところがあります。しかしながら、これは待つていても来ません。どういう風に握つてやるか、捕まえてやるかの姿勢が大事だと思えます。今年、私たち自身も皆さんと一緒に、ゲットするという積極的な姿勢で臨んでいきたいと思つております。

最後になりましたが、兵庫県空調衛生工業協会のご発展と、ご参会の皆様のご健勝での活躍を心からお祈り申し上げます。おめでとうございます。



今年の初詣は生田神社、湊川神社、長田神社、西宮神社の四社に、なんとかい日本にしたいと参拝してきました。今年には会員や賛助会員、ご来賓の方の力を借りて頑張つていきたいと思う次第でございます。この一年が皆様にとって最高の年でありましたことを折念申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。



大阪ガス 姫路ガスエネルギー館

地球と科学とエネルギーのことを、見て・ふれて・楽しく学べる

技術委員会の企画で、姫路ガスエネルギー館を訪ねました。同館では、家庭で使う都市ガスの原料となる天然ガスを始め地球エネルギーや環境について、映像や参加型の展示、クイズやゲームを通して楽しみながら理解を深めることができます。また、製造所内施設をバスで見学することもでき、マルチエネルギー製造所としての新たな展開も目にする事ができました。

大阪ガスグループは、暮らしと産業を支えるエネルギー事業者として多くの取り組みを行っています。なかでも、地域及び地球規模の環境保全には特に力を入れており、その事業活動を通じて環境との調和を図ること、エネルギーと資源の効率的利用を実現することによって持続可能な社会の発展に貢献することを方針としています。ガスエネルギー館は、大阪ガスの姫路製造所に併設されており、子どもから大人まで地球と科学、エネルギーのことを学べる場です。館内の映像ホール「ガスBarthシアター」では、化石燃料として天然ガスが誕生するところから、現代社会において街や工場、家庭で都市ガスが利用されるまでのさまざまな行程、地球温暖化や酸性雨などの地球環境

問題、高い効率の新しいエネルギー利用技術などについて紹介しています。また、「ガスBarthミュージアム」では、科学を身近に感じさせる炎色反応などの不思議な実験やクイズ、ゲームを楽しみながら、省エネルギーやリサイクルの大切さを理解することができます。製造所内のピオトープでは、生物多様性の取り組みを確認できます。郷土産の樹種で植栽を進めた結果、野生のキジなど多くの生き物が生息するようになり、稀少種保護に貢献することに成功しました。

近畿2府4県で必要とする天然ガスの約30%を製造している姫路製造所。地球環境にやさしいクリーンエネルギーとしての天然ガスは、そのコスト面での優位性も浸透しつつあり、ダブル発電、スマートエネルギーネットワークなど先進的な価値の創造によって、夢ある明日を実現する次世代技術の研究開発に取り組んでいます。



【DATA】 ■ 大阪ガス 姫路ガスエネルギー館
〒655-0029 姫路市浜町灘浜1番地 大阪ガス株式会社姫路製造所
TEL.079-246-1908 TEL.078-246-3215

兵庫県 青年洋上大学 海外養成塾参加レポート

■ 平成23年9月15日～20日
■ 広州・上海訪問

三神工業株式会社

小山 慎一郎

青年洋上大学に参加させていただくことになり、まず一番に感じたことは不安でした。私は普段から団体の行動することが苦手で、人と接することがあまり得意ではなかったため、本当に大丈夫かなという思いでした。

しかし、前回参加した先輩から「自分の人生を変えるいい旅になるよ」と言われ、不安から少しずつ期待へと気持ちが変わっていき、事前研修へのぞみました。

事前研修では、コミュニケーションのとりかたやチームワークの大切さ等を学びました。この研修を行っているうちに、私の不安はいつの間にか消えていきました。

そして事前研修を終えたころには、早く本研修へ行きたいという思いでいっぱいになりました。

その約一ヶ月後の平成二十三年九月十五



広州市の重要文化財「陳氏書院」

日、いよいよ本研修への旅立ちの日になり、総勢80名の研修生を乗せた飛行機は関西国際空港を出発しました。

中国に到着して最初に降り立った場所は香港でした。想像を超える壮大なスケールの都市に驚きの連続で、日本では考えられない建造物や、工事中の建物の足場が全て竹製等だったりと、常識を覆されるほどの文化の違いを感じました。

2日目からは、広州にて現地の小学校や中学校へ行き、実際の授業を見学させていただきました。中国の子供たちの授業に取組む姿は非常にまじめで熱心でした。中学校ではクラブ活動に参加させていただき、学生達と交流することができ、楽しい時間を過ごすことができました。

また、ホームステイでは、私は中国語が全く話せないで翻訳の本を片手に身振り手振り表現してコミュニケーションを図りました。言葉は通じませんがホームステイ先の家族は非常に温かい家族で、色々とおもてなしをしていただきました。もっと中国語を勉強していけばコミュニケーションをとれたのに少し反省しました。

広州市内視察では、中山記念堂、陳氏書院、西漢南越王墓博物館を訪れ中国の歴史について学ぶことができ、日本の歴史とはまた違った部分を見ることができました。5日目からは上海へ移動し、日本の大手企業であるヤクルトの工場見学に行きました。中国で販売されているヤクルトは日本

販売されているものよりも少し大きいサイズでしたが、味は日本のものと全く同じでした。

品質管理や製造過程について勉強させていただき、特に品質管理については我々建設業においても通じるものがあり、非常に良い勉強になりました。

また夕食会では、兵庫県出身の方々で結成された「県人会」の方々とお話をさせていただきました。自営をされている方や大手メーカー社員の方が多く、中国での戦略や商法などについての話を聞く事ができ、日本との手法の違いに驚かされることもありました。

最終日は日本の企業である森ビルが経営する上海ビルズへ行きました。上海ビルズは世界でも有数の超高層ビルで、地上492mというスケールには実物を目の前にして、驚きを隠せませんでした。高速エレベーターは約10秒で二気に最上階へと上がり、最上階からの景色は上海が一望できて感動しました。

このような建物の建築に携わることができたいいなと感じました。

たった6日間という研修でしたが、普段の生活を送っている中では経験出来ない貴重な体験でした。そして研修を終えた今、先輩が言っていた意味がよくわかりました。人生の中で大切な出会いと別れを経験することができ、また中国という壮大なスケールの国の文化を学ぶことができ、非常に内容

の濃い6日間であり有意義な時でした。最後に兵庫県洋上大学海外養成塾に参加させていただき、素晴らしい体験をさせていただきます。ありがとうございました。感謝致します。ありがとうございます。



上海の400年以上の歴史をもつ「豫園」

上海市の「上海ビルズ」周辺

株式会社原田工業所

高岡 佳祐

青年洋上大学海外養成塾への参加は会社からの勧めでした。

はじめはどのような内容なのか何もわからず、新しいことにチャレンジしてみたい、行ってみようという気持ちで参加を決めました。

八月の事前研修でこの青年洋上大学海外養成塾がどのようなものなのかを知りました。

兵庫県が主催となり、兵庫県と関わる学生80名で5泊6日を共に生活し、幅広い世代の人の交流や中国の学生との交流を通して、国際的な交流や地域、世代を超えた仲間作りに役立ち、社会活動の参加のきっかけになつていくことが分りました。

滋賀県から神戸の自治研修施設へ向かう電車の中で、どんな人が来るのかな、上手く話が出来るとかという不安な気持ちでした。私以外の学生も同じ気持ちの人はたくさんいたと思います。研修が始まると、5泊6日の中国本研修で共に生活するメンバーに分けられました。そこで私が出会ったのはそれぞれ年代も職種も違う面白いメンバーでした。



ホームステイ先の日本語学科の大学生と筆者

事前研修では本研修に向けたグループ活

動のイメージは空気が臭いと思っていたが、そんなことはありませんでした。少し観光する時間があったので、グループ

の行動を把握して、気にかけて引っ張って行かないとダメなんだと再確認しました。長いようで短い6日間の研修でしたが、良い研修になりました。最後に兵庫県洋上大学海外養成塾に参加させてもらい、貴重な体験をさせて頂き、ありがとうございました。



上海ヤクルト工場見学

九月十五日から5泊6日の本研修が始まりました。か月ぶりにグループのメンバーと再会し、この本研修を楽しもうと話しました。

まず、関西国際空港から香港へ出発しました。機内では前日までの仕事の疲労のためか、寝ている時間が多かった様に思いますが、機内食を食べたり、隣の友達と話したりできて楽しい時間でもありました。

香港の空港に着くと、入国審査があり、その手続きも時間はかかりましたが、無事に通過しました。香港から広州へは高速鉄道を利用して入国するため、鉄道の駅までバスで移動しました。移動の途中、香港の景色を見ることができました。

映画やテレビでしか見たことのない香港の風景を間近で見ることができて感動しました。海外のイメージは空気が臭いと思っていたが、そんなことはありませんでした。少し観光する時間があったので、グループ

の行動を把握して、気にかけて引っ張って行かないとダメなんだと再確認しました。長いようで短い6日間の研修でしたが、良い研修になりました。最後に兵庫県洋上大学海外養成塾に参加させてもらい、貴重な体験をさせて頂き、ありがとうございました。

株式会社トラス

原田 徹



広東実験中学校の授業参観

兵庫県洋上大学海外養成塾に参加することになって私が思った事は、初めての中国で初めて会う人達とうまくやっていけるか?という心配でいっぱいでした。

初めて顔を合わせた事前研修では、始めはみんなが緊張しているのが伝わってきていましたが、班に分かれての自己紹介やアイスブレイキング本研修でのスローガンや出し物の話し合いをしている内に緊張がほぐれ自然にいろんな所から会話が聞こえる様に

写真撮って、香港のスターバックスでコーヒーも飲みました。日本でもよく利用しているスターバックスコーヒーですが、注文するときはやはり言葉がうまく通じないこともあり、言葉の壁を実感しました。

この本研修では中国の教育機関での体験、交流、大学生の家庭にホームステイ、中国の学生との広州市内の散策、交流会、上海ヤクルト工場の工場見学、上海市内の観光という5泊6日のすごく充実した内容でした。

全てにおいて集団行動という普段の生活ではあまりないことで、初日二日目は集合時間に遅れるなど、待つ時間が多かったのですが、3日目からは学生全員が時間に注意して行動することが出来てきて、学生全体にまとまりが出てきたと感じました。

私がこの研修で得たことは学ぼうとする気持ちが大切ということ。そして、何事も楽しむことで自分の世界が広がる。そうすると新しい出会いに繋がりが、大切な仲間とされるということ。また、ホームステイでお世話になった中国の学生とは帰国後もメール交換して、いろいろ交流を続けており、この繋がりを大切にしたいとおもいます。

この研修を通して年齢、職種、国を超えた人たちが知り合い、多くの経験が出来たと思います。これから仕事でも私生活においても海外養成塾で経験したことを活かして、人脈作りや海外への関心をもっと広げて、1度きりの人生を充実したものにできるようにしていきたいと思っています。

最後に、今回の第二回兵庫県青年洋上大学海外養成塾に参加させて頂き、変わるきっかけを頂いたこと、本当にありがとうございました。

今回から養成塾と名前が変わって日数が少なくなったとの事でしたので、この少ない日数で班の人たちと楽しい研修が出来るか?と不安も残ってはいましたけれど、事前研修のおかげもあり、いろいろな人とコミュニケーションを取り有意義な研修にしよう。と期待を胸に旅立つ事が出来ました。



広東外語外資大学生との広州市内散策

なつてきていました。

いよいよ本研修が始まりました。2日目に訪問した、広州の小学校では体育の授業を見学に行っていたのですが、子供たちに誘われ一緒に駆けっこをして業に参加し楽しむ事が出来ました。

その後、中学校にも見学に行き、ここでも授業やクラブ活動に参加させていた嬉しさに交流し、不安も和らいできたところで、いよいよ渡航前から一番不安に思っていた、大学生宅へのホームステイが始まります。私自身が中国語は愚か英語も苦手でしたので日本語は通じるのかな?意思の疎通は出来るのか?と不安いっぱいホストファミリーと対面しました。

中国会話の本を片手に必死に挨拶はする事が出来ましたが、大学生の方も日本語が苦手な様子で、なかなか会話も進みませんでした。しかし、広州タワーを見に連れ

株式会社但馬近畿工業

谷垣 宏樹

最初に兵庫県青年洋上大学海外養成塾の話しを聞いた時は、「今回は誰が参加させてもらうのだろうか?」とつぶやいて行つて欲しいな」と思いながら聞いていたのですが、後日に今回も断られたらしく、この話がきたので自己の見直しのつもりで参加を決めました。

初めは八月六日、七日の事前研修会から始まりました。会場に着いて、誰一人として知っている人の居ない中、上手くやって行けるか不安な面もありましたが、すぐに隣の席になった人と仲良くなったので、二気に不安はなくなりました。

開始時期になり、研修会の目的や説明聞き事前研修では、各班での自己紹介や班でのスローガンや班での役割、本研修中に行う活動内容を、意見を話し合いつつ決めていきました。大学生の子が班のリーダーになりましたが班のまとまりが悪く、見えて上手く班をまとめていけなさそうだったので、本研修ではサポートしてあげないとダメだな



市内散策での昼食会 右が筆者

ていつくられたりしている内に、中国語と英語と日本語やジェスチャーや文字を使って何とか会話出来るようになってきました。

ホストファミリーのお宅へ訪問した際も歓迎して頂きとても良くして頂きました。しかし、感謝の気持ちもうまく伝えられなかったのがこの時はさすがに、もう少し中国語を勉強してから来ればよかったな。と後悔しましたが、その半面、言葉が通じなかつたおかげで、会話以外にどうやって思いを伝えるか?と普段では思わなかつた事が考えられとてもいい経験が出来ました。

上海に移り居人会の人たちとの懇談会では、中国で活躍されているいろいろな職種の方々の話しを聞かせていただき、今の中国の情勢などを内の目線で聞かせていただくことが出来とてもいい経験をさせていただきました。

今回、兵庫県青年洋上大学海外養成塾に参加させていただき、数々の貴重な体験をさせて頂いた事を深く感謝致します。ありがとうございました。



広州市東風東路小学校での授業参観(体育)

■ 県立姫路南高等学校普通教室空調設備工事の完成によせて

県土整備部 住宅建築局 設備課 主査 中農 知之

● 県立姫路南高等学校について

県立姫路南高等学校は大正14年に姫路市立商業学校として開校、昭和25年に現在地に移転、昭和26年に県立姫路南高等学校と校名変更し現在に至っています。

今年度に耐震補強工事が終わり、普通教室に空調設備が整備されましたので、ご紹介します。

● 空調設備の計画について

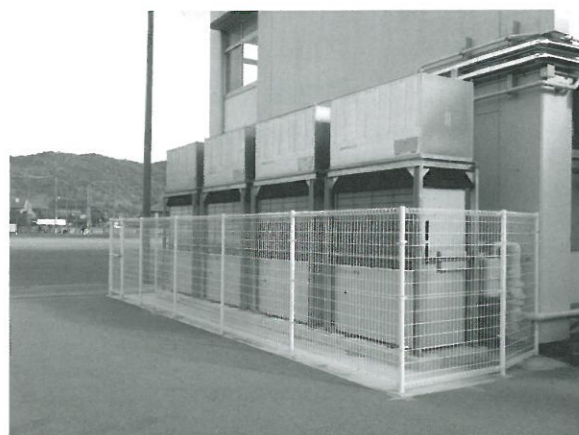
空調方式は①EHP ②EHP+氷蓄熱 ③GHPの3方式で検討し、イニシャルコスト、ランニングコスト及び環境評価を行い、GHPによる空調方式としました。

室外機はグリーン購入法調達基準適合品とし、ビルマルチ方式(台数制御・ローテーション制御・バックアップ運転機能)を選定しました。また、学校西側空地に住宅団地の建設が進められており、騒音対策として校舎西側室外機にはサイレンサーを設置しました。

室内機は1教室当たり2台設置とし、各教室の時間割にも対応できる集中管理リモコンを事務室に設置しました。

● 施工について

学校の空調機設置工事は学校が長期の休みに行うのが一般的ですが、今年度の冷房に一部でも早く対応できればと、工期を夏休み前半までとしました。また東日本大震災の影響により全国的に空調機器納入が困難となり、機器納入が大幅に遅れると予想され一時は工期延長も検討しましたが、工事施工業者及びメーカーの努力により室内機は6月中旬、室外機は7月中旬に納入することができました。また、学校の協力により修学旅行中の2年生の教室に先行して室内機を設置することができ、残りの室内機も放課後等を利用して効率的に設置できました。工期終盤には台風が接近するなど、様々な制約があったにもかかわらず、無事に竣工でき学校側からも大変喜ばれました。末筆ながらご尽力いただいた工事施工業者をはじめ、御協力いただいたすべての方々に厚くお礼を申し上げます。



姫路南高校 室外機



同校 室内機

【施設概要】

- 建築名称：兵庫県立姫路南高等学校 ○ 建設箇所：姫路市大津区天満191-5
- 建築用途：学校 ○ 防火対象：消防法施行令 別表第一7項 ○ 延床面積：3,840.21㎡
- 構造規模：(西棟)RC造4階建 (東棟)RC造3階建 ○ 工期：平成23年4月～平成23年8月
- 設計者：県土整備部住宅建築局設備課・共同設計株式会社 ○ 監理者：県土整備部住宅建築局設備課
- 施工者：【機械設備】テラマエ設備工業株式会社 【ガス設備】大阪ガス株式会社

■ のじぎく会館耐震補強工事の完成によせて

県土整備部 住宅建築局 設備課 主査 春名 義行

● 兵庫県立のじぎく会館について

神戸市中央区にあります県立のじぎく会館は、人権に関する研修、啓発活動などに利用して頂くための施設です。貸し会議室、図書室、大ホールなどを備えています。耐震補強工事のため閉館しておりましたが、平成23年3月に工事が完了し、リニューアルオープンしました。

● 設備の更新について

耐震補強の建築工事は内装をほぼ全て撤去し、RC新設壁、RC増打ち壁を設ける工法でしたので、衛生設備、空調設備については全面更新としました。更新にあたっては維持費や利用者の利便性を考慮して下表のようにシステムを見直しています。

	改修前	改修後
給水方式	受水槽、高架タンク	直圧給水
空調方式	ボイラー、水冷チラー、空調機	ガスヒートポンプエアコン 空冷ヒートポンプエアコン

給水方式については神戸市水道局との協議により、高架タンク方式から直圧方式へ改修し、受水槽類の維持費を削減しました。空調方式については中央熱源方式からガスヒートポンプエアコンによる個別空調とし、ランニングコストの削減に努めています。3階の大ホールについては空冷ヒートポンプエアコンで大空間に対応しています。また、多くの貸し会議室の空調を管理できるよう集中コントローラーを設けています。

● 施工について

RC躯体を残しての耐震補強工事ですので、既存内装、既存設備の解体順序、施工順序の取り合いの調整に気を配りました。そういった手順は設計図では表現されませんので、請負者間の協力があってこそ可能であったと思います。ご尽力いただいた工事施工業者の方々に深く感謝いたします。

● 最後に

本工事の竣工間際に3.11の東日本大震災がありました。謹んでお見舞いを申し上げますと共に、一日も早い復興をお祈り申し上げます。



のじぎく会館 オストメイト



同館 屋上室外機

【施設概要】

- 建築名称：兵庫県立のじぎく会館 ○ 建設場所：神戸市中央区山本通4丁目22番15号
- 建築用途：集会所等 ○ 防火対象：消防法施行令 別表第一1項(口) ○ 延床面積：3,749.28㎡
- 階数：地上3階・地下1階 ○ 構造：鉄筋コンクリート造 ○ 工期：平成22年7月～平成23年3月
- 設計者：県土整備部住宅建築局設備課・(有)一級建築士事務所アトリエフォルム
- 監理者：県土整備部住宅建築局設備課 ○ 施工者：【機械設備】三神工業(株)・【ガス設備】大阪ガス(株)



新会員だより

【会社概要】 株式会社 コタニ産商

■ 代表取締役：小谷 勝美

【所在地】 〒658-0046 神戸市東灘区御影本町6丁目7番1号
TEL.078-822-4111/FAX.078-822-2277

【資本金】 2,000万円

【事業内容】 消防施設工事、管工事



当社は、昭和48年(1973年)創立以来、兵庫県下を営業基盤に、消防施設工事、空調給排水衛生設備工事の設計、施工、管理を幅広く手がける設備工事会社として歩んでまいりました。

私どもは専門業者として、お客様の「安心」「安全」「信頼」「満足」のため、様々な方面での自己啓発と改善に今まで以上に努めてまいりたいと思います。

その為には社内環境を良くし、社員一人ひとりが社会の一員として、常に社会貢献を考え、実践していくことを目指しております。

今後とも皆さまのご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

新社長挨拶

平成24年度新年交礼会で、未来を担う若き経営者として新たに社長に就任された5名の方々をご紹介されました。会社の枠組みを超えて、若い力の活躍が期待されます。



高山設備株式会社 久野水道株式会社 ムツミ商事株式会社 和田株式会社
株式会社 トラスト株式会社 株式会社 株式会社
高木 博司 犬賀 直樹 久野 大介 島津 秀伸 和田 直也

■ 高山設備株式会社
代表取締役 高木 博司

厳しい時代ではありますが、先代が作り上げてきたものをしっかりと継承し、精進していきたいと思っております。

■ 株式会社トラスト
代表取締役 犬賀 直樹

私で三代目の社長になりますが、初代二代と方針が全く違った為、2人のいい所だけ取入れて、いい会社にしたいです。

■ 久野水道株式会社
代表取締役 久野 大介

先輩諸兄が築いてこられた空衛会スピリッツを学び、より一層仕事に、また地域に貢献していきたいと思っております。

■ ムツミ商事株式会社
代表取締役 島津 秀伸

これからも肅々と誠心誠意で取り組む事が一番大事かと思っております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

■ 和田株式会社
代表取締役 和田 直也

小さな事からコツコツとがんばっていきたくてお思います。ご指導ご鞭撻の程宜しく願います。

お知らせ

● 一般社団法人 兵庫県空調衛生工業協会へ移行

来る平成24年4月1日をもってみだしのとおり、「一般社団法人」へ移行予定です。事業内容や活動の中味は変わりません。引き続き協会参加の価値の増進に努めてまいります。ご理解ご協力をよろしくお願い致します。4月早々、新法人として、新定款のもと、会員名簿を作成する予定です。

● 平成24年度 通常総会の開催

5月22日(火)15時からホテルオークラ神戸で開催予定です。総会後の懇親会も昨年度は東北大地震の義援金の関係上中止しましたが、平成24年度は開催予定です。日程に加えていただき、多数のご参加をお願いします。

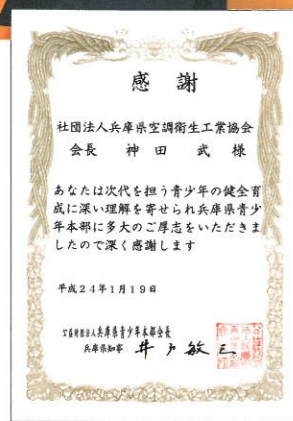
親睦チャリティーゴルフ大会 の募金を寄贈

当協会会員・賛助会員が集う「ゴルフ大会」は、「親睦チャリティーゴルフ大会」として社会への貢献もしながら楽しいときを過ごす方法をとっております。

平成二十三年度は、去る十一月八日(火)、昨年に引き続き加西市西横田町の播州東洋ゴルフ倶楽部において開催しました。晴天の秋空のもと、46名が参加し、募金額も十万円にのびりました。ありがとうございました。

そこで、この浄財をこれからの兵庫県を担う青少年の健全な育成に役立てて頂くこと、井戸知事が会長をされている公益財団法人兵庫県青少年本部に寄贈することとして、昨年同様、募金をいただいた皆さんの前で寄贈しようと、平成二十四年新年交礼会の席上、井戸知事にお渡ししました。井戸知事からは、当協会の公益活動に敬意と讃辞をいただき、神田会長に感謝状をいただきました。ゴルフ大会に参加頂いた会員・賛助会員各位の協力の証として協会事務局に掲示しております。

また、この「親睦チャリティーゴルフ大会」は、社会貢献活動として、一般社団法人へ移行しても公益目的の事業として引き続き実施する予定です。来年度以降も、多くの会員・賛助会員各位のご理解をいただき、多数のご参加をよろしくお願い致します。



平成23年度 経営開発研修会開催
日時：平成24年2月2日(木)13時～16時
場所：神戸市勤労会館3階308号室
平成二十三年年度経営開発研修会として、第1部「暴力団等不当要求排除研修」、第2部「経営開発研修」が実施されました。
第1部では、公益財団法人暴力団追放兵庫県センターの協力を得て、啓発DVDが上映され、その後、平成二十三年度四月に兵庫県において制定された「暴力団排除条例」に従い、同センターの専任講師である後藤光男氏により暴力団の現状と不当要求に対する対応要領についてお話しいただきました。
第2部では、園田学園女子大学名誉教授である田辺眞人氏をお招きし、「福原京など神戸の中世・近世のインフラ整備に学ぶ」と題してお話しいただきました。
NHK大河ドラマ「平清盛」が放送されるのをきっかけに、注目されている兵庫。身近な場所からの出土品を始め、福原の都や大輪田泊などさまざまな神戸との関わりを時代の変遷とともに、地元ならではの視点でご紹介いただきました。神戸観光の活性化のみならず、地元に住む私たちがもつ歴史に目を向ける必要があるようです。

編集後記

昨年、東日本大震災や原発事故という、今までに誰も経験した事のない事が次々起こり、一年が経とうとしています。今後は、我々の設備業にも震災や原発の影響が多数出てくると思っております。

広報委員会では、減災や防災のほか一つでも何かに役立つテーマを取り上げていきたいと思っております。みなさんも「ゆう和」を楽しみにして読んで下さい。

EDITORIAL STAFF

■ 広報委員会	
委員長	山本 繁之
副委員長	広瀬 彰
副委員長	高井 豊司
委員	犬賀 直樹
委員	下井 宏之
委員	藤井 一博
委員	山中 賢作